

2017年度の実績・課題

CSRマネジメント **グローバル**

| 主要なサステナビリティテーマ | | 2018年中期計画 | 2017年度の重点活動項目 | 2017年度成果・残された課題 (●成果 ▲課題) | 評価 |
|----------------|--------------------------|--|---|--|----|
| コーポレートガバナンス | ■グループ会社を含めた内部統制システムの運用 | ・経営の効率性・透明性を向上させ、企業価値を最大化できる最適なガバナンス体制の構築・運用 | ・幅広いテーマを取上げ戦略議論を活性化 ・時事に関する意見交換や自由な意見交換の実施 | ▲出資関係の戦略議論は活性化したが、オフサイトミーティングを含め、テーマの幅・数に見直す余地が多い ●取締役会の最後に社内取締役から時事に関する報告事項が増加、ランチミーティングを社内外取締役の意見交換の場として積極的に活用、取締役メンバーを絞ったこと等により、発言数が増え、以前よりも活性化 | ○ |
| | ■社員一人ひとりのコンプライアンス意識の徹底 | ・グローバルコンプライアンス体制の確立 ・世界各地域での独占禁止法順守体制の更なる強化 | ・海外拠点におけるコンプライアンスプログラムの拡充 ・世界各地域での独占禁止法順守体制の強化 ・世界各地域での贈収賄防止体制の強化 ・世界各地域での個人情報保護法順守体制の強化 | ●コンプライアンステスト実施（10年度からパソコン非保有者も対象） [(株)デンソー及び国内グループ会社] ●海外拠点におけるコンプライアンスプログラムの拡充 ●世界各地域での独占禁止法順守プログラムの強化 ●世界各地域での贈収賄防止プログラムの浸透、贈収賄防止体制の強化 ▲世界各地域での個人情報保護法順守体制の確立 | ○ |
| リスク管理 | ■危機発生時の対応力強化 | ・グループ会社を含めた初動・事後対応のレベルアップ ・職場リーダーのリスク管理とルールの理解度向上に繋がる啓発・浸透（株デンソー） | ・リスク主管部署と連携したG会社の初動・事後対応のレベルアップ ・新任の部門責任者に対するリスク管理研修の継続（株デンソー） | ●個別リスク事案の初動・事後対応の反省すべき点を発生部署・主管部署にフォロー ●新任の部門責任者への研修を通じて、リスク管理とルールを体系的に理解、実践力を養成（株デンソー） | ○ |
| | ■グループ会社のリスク管理レベル向上 | ・継続的なPDCA活動の推進（国内外G会社・仕入先様への啓蒙・監査活動） | ・グループの事業活動に影響を及ぼすリスクについての重要度と対策状況の見える化、事前対策（予防・初動）のPDCA推進 | ●リスク主管部署と連携し、環境変化を踏まえ、リスク項目の重要度、管理状況を定量評価。DNグループとしての現状の課題と今後の改善活動の方向を整理。 | ○ |
| 情報セキュリティ | ■情報セキュリティ強化と社員一人ひとりの意識改革 | ・変化に対応したリスク項目見直しと未然防止活動のPDCA推進 | ・情報セキュリティのグローバル体制構築 ・頭出しのセキュリティ製品の着実な立ち上げと、ECU製造ラインのセキュリティ整備 | ●全部門・海外グループ会社・地域本社の推進者個人名確定完了。 ▲実効性ある活動の推進。 ●頭出し製品予定通り進捗、18年度出荷製品のECU製造ライン対策完了。 ▲ECU以外の工場でのセキュリティ対策。 | ○ |

社会性報告 **グローバル** **株デンソー**

| 主要なサステナビリティテーマ： | | 2018年中期計画 | 2017年度の重点活動項目 | 2017年度成果・残された課題 (●成果 ▲課題) | 評価 |
|-----------------|---|--|--|---|----|
| お客様への責任 | ■グループ全体での品質に対する教育・訓練・啓発活動の推進 | グローバル ・市場を先取りした構え構築（技術の進化への対応など） ・現場力の向上、品質人材育成 | ・設計品質向上：ストレスストレス（S-S）設計の浸透 ・製造品質向上：はずかしい不良の低減 ・先進安全システムの品質保証 | ●7ル/A指定で82製品、懸念198項目(70%+)のS-S余裕度を確保。また、複合振動解析など解析技術を確認し、製品適用。S-S余裕度不足による重点項目。 ▲ストレス-ストレスモデルの開発上流への浸透 ●はずかしい不良は外観検査改善により前年46件を36件 B不良全体は実績81件で目標達成(前年比▲25%) ▲工程信頼度向上活動による製造品質基盤の強化 ●7リテラチュアシステム不要作動時の検証手法を確認し、計画通り事業部移管 次期NCAP(夜間、自転車)や自動運転(分岐、合流)の評価設備を導入完了 ▲AD/コネクティッド領域の車両評価体制の構築 | ○ |
| | ■アフターサービス体制の充実 | グローバル ・アフターサービス拠点数拡大 (ダイアグステーション：100拠点、 「ビット&ゴー」：新興国を中心に順次展開) ・エンドユーザー向け相談窓口の充実 (入電期待値の把握100%) ・製品不具合発生時の迅速な対応 (ホームページ掲載およびフリーダイヤルでの受付による継続的な回収活動) | ・アフターサービス拠点の質向上と継続拡大 ・お客様の声の層別・製品・サービス・販売への反映の仕組みづくり（継続） ・ホームページ掲載およびフリーダイヤルでの受付による「遠赤外線ヒーター」回収活動（継続） | ●アフターサービス拠点（ダイアグステーション：92店、ビット&ゴー店：17店） ▲ダイアグステーション店舗数18年度目標達成 ▲お客様の声の製品・販売への反映しくみづくり ●「遠赤外線ヒーター」回収実績は、低いながらも平均的に推移（5件/月） | ○ |
| 社員への責任 | ■人権尊重の徹底 | グローバル ・グループ全体における「人権」啓発の充実 | ・人権啓発活動の継続的展開と充実 | ●グループ会社への人権啓発研修資料の展開 ●社外人権研修会への参加呼びかけ | ○ |
| | ■人材育成の推進 | グローバル ・大切にしてきた価値観の再徹底・実践 ・地域・拠点の運営/オペレーションを安定的に支える人材の育成 | ・長期方針2030の展開・浸透（インターナルブランディング） ・マネジメント力の強化、役割意識の徹底・向上 | ●“共感”をキーワードに作成した会社メッセージ（社長メッセージ動画・ビジョン動画）の全地域への展開完了 ●デンソーグループ全体のマネジメント力向上に向けた標準プログラムの全地域への展開完了 | ○ |
| | ■多様な人材の活躍推進 | 株デンソー ・「女性」「高齢者」「障がい者」の活躍推進 <女性> ・女性社員の継続的な採用強化とキャリア形成支援に基づく管理職登用の促進 <高齢者> ・65歳まで活躍できる体力維持意識、多様な働き方・生き方検討の定着 <障がい者> ・多様な障がい者（知的・精神障がい者等）の雇用と定着の促進 | <女性> ・女性社員のさらなる採用強化と継続的なキャリア形成支援 <高齢者> ・活躍先個別マッチング強化 <障がい者> ・多様な障がい者の活躍に向けた採用・定着支援施策の実現 | <女性> ●女性総合職の採用強化（18年4月入社 事務41% 技術14%） ●一人ひとりの育成計画作成、交流会を通じた女性通しのネットワーク形成 ▲女性管理職登用の強化 | ○ |
| | ■職場安全 | グローバル ・重大災害・爆発火災を絶対に出させない体制の実現 ・機械作動部・重量物等の「1種災害抑止」のレベルアップ・浸透 | ・重大災害・爆発火災防止診断の継続、国内外グループ会社の重大災害リスク改善（フォークリフト人車分離対策等）の強化 ・異常処置者等「事前指導・職制許可」と「見える化・自覚醸成」による「3S+ファーストタッチはデレック使用」の確実な実践 ・特定会社の実態に応じた災害抑止強化 | ●引火性ガス使用設備等（全197台）の防火管理維持管理状況を診断 ●DNグループ全体で高所からの墜落防止を強化 ▲「3S及びファーストタッチはデレック使用（3S+D）」定着による「SW切らず・直接手出し」災害の撲滅 ▲特定会社の体質強化に向けた取組みの加速・やり抜き | ○ |
| ■社員の健康づくりの推進 | 株デンソー ・健康増進に向けた社員の意識向上と職場での健康管理の推進（「健康経営」の促進） | ・健康経営の長期方針と中期計画の策定 ・グループ会社への健康経営の展開・活動支援 ・健康経営指標（生活習慣スコア）の導入 ・喫煙対策 ・がん対策の促進（検査メニューの充実） ・職場活動の促進（活動の定着・支援体制の整備） ・健診・診療等業務の運営体制の見直し・効率化 | ●健康保険協同による2025長期構想及び2021中期計画策定完了 ▲国内外グループ会社への方針展開と支援 ●グループ会社情報連絡会開催(参加39社)と健康経営優良法人認定に向けた活動支援実施(優良法人認定8社) ▲健康経営を実践するグループ会社の拡大 ●独自の健康指標「生活習慣スコア」を会社目標として導入 会社目標値(22年/77点)設定完了 ▲目標達成に向けた健康増進施策の強化と展開 ●就業時間内禁煙の励行に向けて、健保・労組と協同の巡回活動や製作所独自の禁煙啓発活動を実施。非喫煙者率が毎年2%弱増。▲非喫煙者率(2017年：69.8%)向上の取り組みと受動喫煙防止対策の強化 ●社内検診機会の拡大により、乳がん/子宮頸がん検診の受診率向上(16年比8%増) ▲任意がん検診(胃がん検診等)の受診率向上(16年比10%以上減) ●各部署の「健康リーダー」が中心となり、職場単位の健康づくり年間計画を策定、活動スタート。職場活動メニューや好事例の情報提供・支援を行うとともに、職場表彰制度の策定完了。 ▲更なる健康意識の高揚と活動定着化に向けた施策充実 ●健康診断システム、運営体制のリニューアル完了。大きなトラブルなく稼働。待ち時間短縮とペーパーレス化を実現 ▲社内診療所のあるべき姿を見据えた運営体制の見直し | ○ | |
| 株主・投資家家族への責任 | ■企業価値の向上と情報開示の充実 | グローバル ・IR活動の質向上 ・ステークホルダーのニーズに合わせた情報開示の充実化 | ・積極的なIR活動の継続 ・統合報告書の内容充実化 ・個人投資家向けIR活動の強化 ・決算開示情報の充実化 | ●統合報告書を使ったステークホルダーとの対話と情報拡充 ●個人投資家向けIRニュースメールの配信開始、個別説明会の実施 ●決算説明会の模様を配信および質疑応答要旨の公開 | ○ |
| 取引先様への責任 | ■サプライチェーンでのCSR活動の実践 | グローバル ・サプライチェーンマネジメントの強化・拡大 ・自主点検結果に基づく仕入先様とのダイアログ実施、国内外グループ会社へのCSR仕入先様自主点検実施拡大など | ・仕入先とのCSRダイアログの実施 | ●関係性の深い飛翔会サプライヤと計画的継続的にダイアログを進めている。2017年は6社と実施。 | ○ |
| 地域・国際社会への責任 | ■デンソーらしい独自性のある活動の推進 | グローバル ・デンソーが所在する国・地域のコミュニティにおける「交通安全活動」および「グリーン&クリーン活動(環境活動)」の展開 | <交通安全活動> ・世界各拠点による交通安全教育の拡大 <グリーン&クリーン活動(環境活動)> ・グループをあげた「グリーン&クリーン活動」の展開 | <交通安全活動> ●19ヶ国55社のグループ会社でコミュニティ向け交通安全教育を実施▲体験型授業の拡大、活動の定着化 <グリーン&クリーン活動(環境活動)> ●グローバルで80%超の参加率（82.7%） ▲孫会社の実施促進 | ○ |

CSRコミュニケーション **グローバル**

| 主要なサステナビリティテーマ | | 2018年中期計画 | 2017年度の重点活動項目 | 2017年度成果・残された課題 (●成果 ▲課題) | 評価 |
|----------------|--------------------------------|---|--|---|----|
| CSRコミュニケーション | ■ステークホルダーへの情報開示と双方コミュニケーションの充実 | ・ステークホルダーからの理解/共感を促進する情報開示と対話の推進 ・実績報告から中長期視点の情報拡大 ・アニュアル（財務）とCSR（非財務）レポートを統合、全体像・関連性を明確化 ・レポート/CSRニュースなどを通じ社員に対し社会への意識・関心喚起 | ・統合報告書のさらなる訴求力向上 ・CSRサイトの構成とデザインの見直し ・ステークホルダーダイアログの継続実施 | ●統合報告書2017の発行 ●CSRサイト構成とデザインの大規模刷新（一般ユーザーのユーザビリティ評価はおおむね向上） ●個人投資家との統合報告書を用いたダイアログの実施 ▲ESG評価を意識した情報発信の強化 | ○ |